

19-09-12

## 保存修理工事中の建造物の見学会を開催します ～「如庵及び旧正伝院書院 工事見学会」のご案内～

名古屋鉄道では、所有する日本庭園「有楽苑(愛知県犬山市御門先)」において、「如庵及び旧正伝院書院 工事見学会」(事前応募制)を10月5日(土)に開催します。

有楽苑は、織田信長の実弟である織田有楽斎が建てた国宝茶室「如庵」及び重要文化財「旧正伝院書院」等、貴重な建造物を有する日本庭園で、1972年の開苑から47年を迎えます。現在は、両建造物とも、保存修理工事中のため、2019年3月1日(金)より同苑の公開を一時休止していますが、今回は、特別に工事の様子を見学できます。(工事完了後の公開開始は2021年度内を予定)



国宝茶室「如庵」(工事前)

詳細は下記のとおりです。

### 記

- (1) 公開日時 2019年10月5日(土) ①10:30～ ②14:00～  
※各回の定員は20名です。  
※見学時間は約1時間です。
  - (2) 公開内容 国宝茶室「如庵」および、重要文化財「旧正伝院書院」の外部にて工事概要の説明を行います。その後、施設回りにある仮設の足場に登り、周りから工事状況の見学ができます。その際、工事により判明した、当時の建築技術などをご紹介します。  
※工事中につき、如庵内部に立ち入っての見学はできません。
  - (3) 参加料 500円(入苑料含む)
  - (4) 参加方法 往復はがきに以下の項目を明記の上、お申し込みください。  
・代表者の住所、氏名、電話番号  
・参加者全員の氏名、年齢(申込者を含みます)  
・参加希望時間(必ず第1希望と第2希望をご記入ください)
- お申し込み先  
日本庭園「有楽苑」 工事見学係  
〒484-0081 愛知県犬山市御門先1番地
- ※小学生以下は参加不可。1申込につき4名様まで。  
※先着順にて受付。定員に達し次第、申込を締め切ります。  
※申込締切は9月30日(月)必着となります。  
※当選者の発表は、当選者様へのご案内をもって代えさせていただきます。  
※申込状況により、ご希望以外の時間のご案内となる場合があります。  
※往復はがき以外でのお申込みはできません。
- (5) 注意事項
    - ・大変狭い足場であり、また高所に登っての見学となるので、ヘルメットを着用いただきます。安全には十分にご注意いただき、見学の際はスカートやヒールの高い靴は避け、汚れてもよい服装にてご見学ください。
    - ・ご見学の際の撮影はできません。
    - ・現地までの交通費は、参加者のご負担となります。なお、駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
    - ・天候等により、開催できない場合や一部閲覧を制限する場合があります。

【本件に関するお問合せ】 日本庭園「有楽苑」 TEL:0568-61-4608

(参考) 有楽苑

犬山城のふもとに位置し、苑内には国宝茶室「如庵」、重要文化財「旧正伝院書院」、古図により復元された元庵等を有する日本庭園。

如庵は、茶の湯の創世期に尾張の国が生んだ大茶匠・織田有楽斎が建てた茶室で、昭和 11 年に国宝の指定をうけた茶道文化史上貴重な遺構であり、京都山崎妙喜庵内の待庵、大徳寺龍光院内の密庵とともに、現存する国宝茶席三名席の一つに数えられます。織田有楽斎は信長の実弟として天文 16 年(1547)に尾張に生まれ、彼の波瀾に富んだ人生を写すように「如庵」も各地を点々としましたが、昭和 47 年に織田家ゆかりの地に移築されるにあたり、庭園も「有楽苑」と名付けられました。

旧正伝院書院は、織田有楽斎が京都の旧正伝院内に隠居所として、如庵と同時期(元和 4 年)に隣接して建てられました。入母屋造の温かな外観を示し、内部は簡素でありながら、細部には織田有楽斎ならではの意匠や工夫が凝らされています。



国宝茶室「如庵」の工事の様子

以上